

ふれあい

地域版

2022年06月15日発行
社会福祉法人
島根県社会福祉事業団
特別養護老人ホーム
雪舟園
広報係
0856-22-5200



新型コロナウイルスを乗り越えて

園長 野村正樹

地域の皆様やご家族に雪舟園の様子をお伝えするため、定期的に「ふれあい」を発行しています。今回は入居者の皆さんが職員と一緒に梅干しと柏餅を作る様子の写真を掲載しています。厳しい制限の中でできる限り普通の生活をさせてあげたいという気持ちで、このような取り組みをしています。

以前は、近所の方々が施設の一部を自由に利用され、時には保育園の子供たちの訪問を受け、多くのボランティアにお手伝いをいただき、多くの方と触れ合っていたことが当たり前でした。また、ご家族の中には朝食と一緒に毎朝来られる方もあり、面会もできない今の状況は誰も想像ができませんでした。

余談ですが、私の暮らす地区は、地域活動が大変盛んで、自治会を中心に諸団体が活発に様々な事業やイベントを行い、子供からお年寄りまで、住民が相互に助け合っ

て地域を支えてきました。しかし、ここ数年は他地区と同じくコロナ過を理由にほとんどの年中行事が中止となっています。

そして、そろそろまた始めようという話をして、一度止めてしまったものはなかなか機運が盛り上がり、再開が難しいという声を地域のお世話の方から伺いました。

この様な時世ですが、職員と雪舟園の運営のあり方を協議する中、悪いことばかり気にして出来ない諦めるのではなく、出来ることから始めようとプラス思考で進める事を確認しました。最近になって感染者数も減少し、移動制限やマスク着用が緩和されたことから、買い物やドライブ等外出の機会を増やし、懐かしい料理に挑戦するなど元の生活を取り戻しています。また、感染予防のためご家族との面会や訪室はしばらく控える必要があり、ワクチン接種や感染者数等を考慮しながら慎重に検討したいと思います。

雪舟園のことが分かりやすく温かみのあるパンフレットを作りました。

パンフレットを新しくしました！

ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード

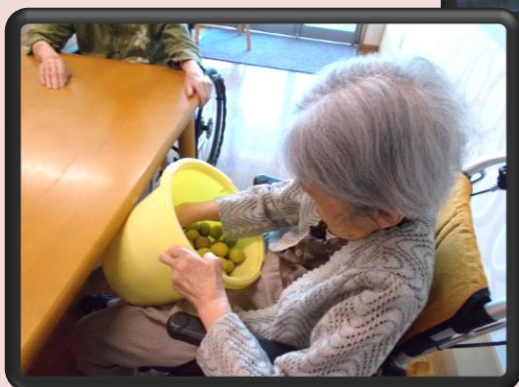




梅干しづくり



市場にも梅干しがではじめたので
今年梅干しづくりに挑戦しました。
職員は見ていだけで、入居者3名の方で
作業され塩の分量を入居者同士で
「あなたはどれくらいいれる？」と
話合ったりと楽しい時間になりました。



かしわもちづくり



今年度も入居者の方と一緒に柏餅を作りました
一生懸命かしわもちを作られる方、
つくっている人を応援される方、
初めましての方とお話しされる方など
それぞれかしわもちづくりを楽しみました。
楽しんだ後はおいしく柏餅を食べられました。

←ムースの柏餅